

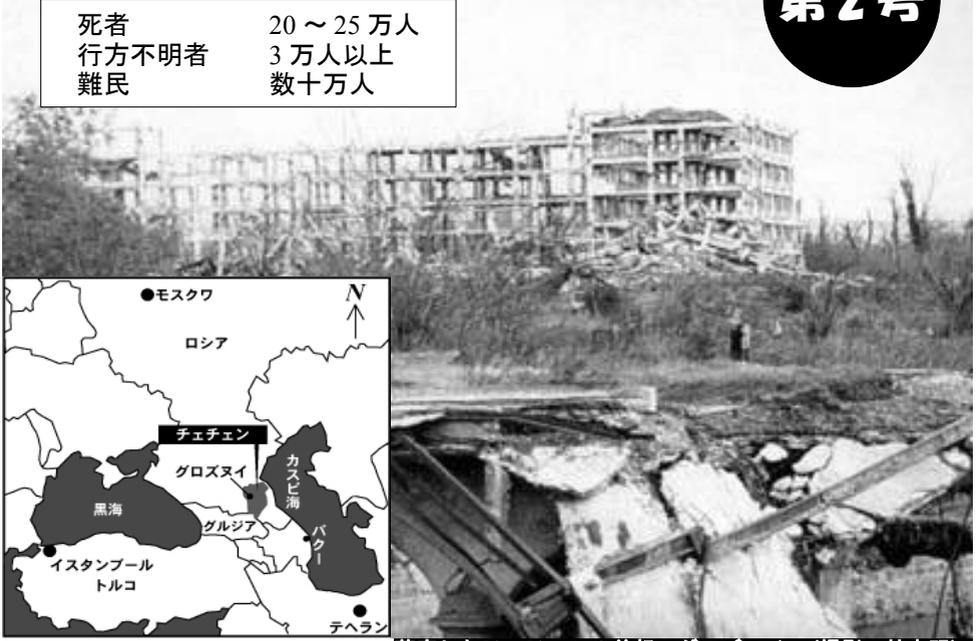
# チェチェン支援通信

第2号 2006年3月12日

発行：チェチェン連絡会議 Chechen Liaison Committee Japan

第2号

死者	20～25万人
行方不明者	3万人以上
難民	数十万人



荒廃したチェチェンの首都、グロズヌイ（撮影：林克明）



戦死した父親の写真を手にした子どもたち（撮影：林克明）

**チェチェンに  
平和と人権を！**

チェチェン戦争が始まって11年。1991年に独立を宣言したチェチェンに対して、ロシアは1994年から断続的に軍事侵攻を行い、人口約100万人のチェチェンで、5万人の子どもを含む20～25万人が死亡し、数十万人が難民となっています。

チェチェン連絡会議は、世界の無関心の犠牲者ともいふべきチェチェンの情報を発信し、この問題の平和的解決を訴えるために活動しています。

2号目となる今回の「チェチェン支援通信」では、最新イベント情報とともに、昨年のパピーツキ記者報告会と反戦デモについて報告します。

## ハッサン・パイーフ来日招聘プロジェクト



### ハッサン・パイーフ (パイーフ) :

(1963-) 外科医、柔道家。チェチェンの首都グロズヌイ郊外、アルハン・カラ生まれ。1977年ソ連邦ジュニア柔道大会で優勝し、以後多くの柔道大会にて金メダルを獲得。1985年クラスノヤルスク医科大学卒業。1988年チェチェンに帰国し、首都グロズヌイにて形成外科医として医務につく。1994年ロシア-チェチェン戦争の勃発とともに、野戦外科医として活躍。敵味方を区別しない医療活動のために、ロシア連邦軍とチェチェン過激派双方から命を狙われる。

2000年米国へ亡命、同年11月米国NGO ヒューマンライツ・ウォッチから「2000年人権監視者」の栄誉を受ける。

著書に「誓い～チェチェンの戦火を生きたいひとりの医師の物語～」(2004年アスペクト刊)がある。

「敵も味方もない。私は、傷ついた者を救いたいだけだ。」

チェチェンの戦火の中、すべての傷ついた人々を治療し続けたチェチェン人医師の来日報告会！

チェチェンの人口のおよそ5人に1人が死亡しているチェチェン戦争。私たちチェチェン連絡会議は、チェチェン戦争の実態と人権侵害の事実を広く伝えるために、チェチェン人外科医のハッサン・パイーフ氏を7月に日本に招聘し、報告会を行います。

柔道家でもあるパイーフ氏は、医師の倫理と任務を定めたヒポクラテスの誓いに忠実に、戦火の中でも敵味方の区別なく負傷者の治療に当たり続けてきた人物です。世界でもっとも悲惨な戦争の一つを目の当たりにしながらも、自らの命を賭けてチェチェン人とロシア人の命を救い続けたパイーフ氏による報告は、今後のチェチェン戦争の行方を考えていく上で非常に貴重なものになると思います。この招聘プロジェクトを成功させるために、どうか今から私たちの活動を支えてください！

### パイーフ氏来日支援募金にご協力をお願いします！

郵便振替口座番号 00180-6-261048 口座名称 チェチェン連絡会議  
一口3千円(同封の郵便振替用紙をお使いください)

### チェチェンについてもっと知りたい方は・・・

チェチェン総合情報 <http://chechennews.org/>

バイナフ自由通信 <http://d.hatena.ne.jp/ootomi/>

ChechenWatch <http://groups.msn.com/ChechenWatch/general.msnw>

チェチェン未来日記 <http://www.actiblog.com/hayashi/>

## 「終わりなきチェチェン戦争、強権化に向かうロシア社会」



右端がバビーツキ記者

125 人もの人が参加した会場

真剣に語るバビーツキ記者

昨年 10 月末、チェチェン連絡会議はアンドレイ・バビーツキ記者を日本に招き、チェチェン情勢とロシアのプーチン政権の現状について報告会を行った。バビーツキ記者は、チェチェン戦争の始まった当初から、無差別爆撃の続く現地に潜入して取材を行い続けるチェチェン報道の第一人者。以下にその報告の要旨をまとめてみる。

**今月、A. バビーツキ講演録の刊行を予定しています。詳しくは同封チラシをご覧ください。**

### チェチェンでは・・・

「チェチェンでは第一次チェチェン戦争が始まった 1994 年から今日までに数十万人が犠牲になったという数字も出ています。チェチェン人は自分たちと祖先が生きてきた土地を離れて国外に出ることを余儀なくされている。また、破壊された村落にいるチェチェン人たちは、飢餓状態にあり、産業などのインフラ基盤もすべて破壊されたと言われています」

### 拉致と人身売買

チェチェンにおける人権侵害の最たるものは、拉致と人身売買だ。

「多くの場合、夕方から夜間にかけて、ロシア軍の人間なのか、それとも地元の親ロシア政権の警察・軍人なのかかわからない服装をした人間たちがやってきて、家におしかけ、好き勝手に人々を拉致していきます」

拉致された人々は肉親たちが身代金を払えば解放されるケースが多いが、ときには

多額の身代金と引き替えに遺体が返ってくることがある。

「拉致の目的はふたつあります。ひとつは金です。そこからもたらされるとつもない収入が、ロシア軍、現地の治安機関の人間たちの懐を肥やしているのです。もうひとつはチェチェンの民衆を管理しやすくするために、恐怖心を植え付けるということです」

### チェチェン人に対する拷問

拉致されたチェチェン人は拷問にさらされる。もっとも頻繁に行われるのは、人体に電流を流すもの。毒ガスマスクをかぶせて窒息に近い状態にする拷問や、女性に対する性的な拷問も多い。2001 年にはバビーツキ記者自身がロシア治安機関に約 40 日間拘束され、拷問を経験している。

### チェチェンのゲッター化

バビーツキ記者は「チェチェンがゲッター化されようとしている」と言う。第二次チェ

チェン戦争開始時に30万人もの難民をかかえた隣国イングーシ共和国のキャンプはすべて閉鎖され、チェチェン人が安住できる場所は事実上なくなった。

「チェチェン人は、難民としての権利も剥奪され、ロシア国内での移動の権利も剥奪され、チェチェンに閉じ込められている。そこでは6年近く戦争が続いており、地元の親ロシア派権力による暴力が続いている。ですから、私はチェチェンのことを、『ゲットー』と呼んでいるわけです」

一方、ロシア市民の多くは「7年以上の間におわたって、テレビの画面から、新聞の紙面から、執拗に流されてきた」政府のプロパガンダにどっぷり漬かった状態で、「チェチェン人は遺伝的に暴力的な人種」で「チェチェンで起こっていることに関しては、チェチェン人たちが集団的に責任を負っている」と考えるようになっていく。

### 拡大するチェチェン戦争

ロシア政府に対抗するチェチェン独立派勢力は、1999年に始まった第二次チェチェン戦争を通じて、北コーカサスに戦線を拡大させてきた。ロシアに対する武装抵抗やイスラム原理主義の影響は、今やダゲスタンやイングーシ、カバルジノ・バルカリアといった他のロシア構成共和国におよんでいる。ロシアは新たに「コーカサス全体の戦争という脅威」に直面しているのだ。

「それを食い止めるためには、一つしか方法がないと思います。それは、チェチェンの戦争を停止すること、平和的解決に向けた交渉を進めることです」

### 質疑応答

#### バビーツキ記者関連記事

A. バビーツキ／林克明、「戦争の脅威は北コーカサス全体に広がりがつある」「世界」1月号今月刊行されるA. バビーツキ講演録には、さらに詳細な内容が掲載されます。お求めの方は、同封の振替用紙をご利用下さい。

**Q：**急進イスラム勢力の影響は？

**A：**一般のチェチェン人はスーフィズムという伝統的なイスラムを信仰しており、バサーエフのようなイスラム原理主義者を支持していない。だが、戦争犯罪者の責任が問われず、司法や警察のシステムが機能していない現在のチェチェンでは、彼らにとって唯一の力である武装抵抗勢力が民衆から一定の支持を得る状況が生じている。

**Q：**ロシア国内の現状は？

**A：**半年ほど前の世論調査によると、ロシアの人口の70%が戦闘によってはチェチェンの武装勢力を制圧できないと考えている。一方、政府の情報統制によりメディアがチェチェン戦争の真実を報道することはない。

**Q：**なぜ戦争は続くのか？

**A：**ロシア治安権力の横暴によって民衆が抵抗勢力を支持せざるを得ないというチェチェン側の事情と、資源を擁し周辺地域の不安定要因でもあるチェチェンの独立を阻止したいロシア側の事情による。しかし、チェチェンという脅威を生み出したのはロシアの側であるため、ロシア軍が撤退すればその脅威を取り除くことはできる。

### おわりに

国際社会の介入によって第一次チェチェン戦争が終わってから9年、国際社会の無関心の中で第二次チェチェン戦争が始まってから7年が経ちました。今回のバビーツキ記者の招聘が、日本においてチェチェン戦争の平和的解決を求める声を広げていくきっかけになれば幸いです。最後に、この招聘を支えてくださった多くの方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。

## 「プーチンはチェチェン戦争をやめろ！ 11.20 集会・デモ」



池袋駅周辺を行進 太鼓でアピール（撮影：山口花能） プラカード（撮影：山口花能）

ロシアのプーチン大統領が来日した昨年 11 月 20 日、チェチェン戦争の平和的解決を訴える日本初のデモが行われた。当日の状況をジャーナリストの林克明さんが報告。

### 日本史上初のチェチェン戦争反対デモ

今日は、原稿の締め切り前日だというのに、東京池袋で行なわれた「チェチェン戦争反対」デモに行ってきた。

2005 年 11 月 20 日午後 1 時 30 分より、東京池袋の中池袋公園で集会が始まった。チェチェンの戦争がはじまってから、この 12 月で 11 年を迎える。

100 万人の人口で 20 万人もの方が犠牲になっているにもかかわらず、これまで日本において屋外の集会とデモはなかった。参加者は 75 人で小規模のものとはいえ、踏み出した一歩は大きい。なにしろ、日本の歴史始まって以来の出来事だったからだ。

最近、撮影をしていなかったのも、ビデオとスチールカメラの両方の撮影にとまどった。

デモの前には集会があったのだが、小さな公園にグループが二つ。ひとつは、アイヌ民族を無視した日露間の領土交渉に反対

する人たち。公園のもう一方のすみではチェチェンでの虐殺に抗議する人々。

この二つのグループが一緒になって池袋の街を行進した。

私は、チェチェングループを写真撮影したりしていた。発言する人たちが、自分自身の言葉・自分自身の表現で想いを語っていたのが新鮮だった。集会での演説というより、トークショーのような趣であった。

チェチェンの状況は悪化しているが、集会は、なぜか温かい雰囲気であった。なにしろ集会とデモに関して”素人”も多く、デモ出発前には念のためシュプレヒコールの練習をしたり、行進が終わってから、参加者が集まって記念撮影（集合写真）していたのが笑える。

そんなわけで、少し疲れている。明日は、400 字詰めで 23 枚の原稿の締め切り。いま、夜の 9 時なのに、まだ一字も書いていない。ああ、どうしよう・・・。

(2005 年 11 月 20 日)

「プーチンはチェチェン戦争をやめろ！ 11.20 集会・デモ」関連サイト  
[http://blogs.yahoo.co.jp/anti\\_putin/MYBLOG/yblog.html](http://blogs.yahoo.co.jp/anti_putin/MYBLOG/yblog.html)  
<http://www.geocities.jp/putindemo/>

お勧めチェチェン VHS&DVD／書籍：チェチェンについてもっと知ろう！

## 『春になったら&子どもの物語にあらず』／『誓い』



ザラ・イマーエフ作品 29分 2000年

『子どもの物語にあらず』

・第2次チェチェン戦争で難民となった子どもたちの証言・



『春になったら』

『子どもの物語にあらず』

チェチェン人医師の物語

数あるチェチェン関連書籍の中でも珍しいチェチェン難民の手による作品を紹介します。チェチェン問題に初めて触れる人も、もっと知りたい人も必見のお勧め作品。

『春になったら&子どもの物語にあらず』は「通販あれこれ」から販売しています。↓

<http://www.rakuten.co.jp/arekore/>

### 『春になったら』（VHS&DVD）

ティムール・オズダミール

1999年に始まった第2次チェチェン戦争を目撃した子どもたちが描き残した膨大な絵を元にアニメ化された作品。冒頭に流れる子どもたちの平和な日常は、ある日を境に血みどろの戦争に一変した。「春になったら」戦争は終わるといふ母親の答えに、子どもは平和な春の訪れを夢見る・・・。

### 『子どもの物語にあらず』

（VHS&DVD） ザーラ・イマーエフ

『子どもの物語にあらず』は、観る者に容赦なく戦争の意味を突きつける。作品では、様々な国に離散していくチェチェン難民の子どもたちが、爆撃の恐ろしさや家族

の死、苦しい避難の道のり、ロシア軍の略奪を証言し、平和への願いや将来の夢を語る。証言者の少女の歌声がグローズヌイの廃墟に重なって響き渡る最後の場面は圧巻。

### 『誓い～チェチェンの戦火を生きたひとりの医師の物語～』（アスペクト）

ハッサン・パイエフ著／天野隆司訳

チェチェンという知られざる戦場の第一線にありながら、持てる知力、体力、精神力を極限まで尽くして負傷者の治療に当たり続けた一人のチェチェン人医師の自伝。「敵も味方もない。私は、傷ついた者を救いたいだけだ」として人々の命を救うパイエフは、ロシア軍とチェチェン武装勢力の双方から追われながらも、奇跡的にチェチェンの戦火を生き抜いていく。

発行元：チェチェン連絡会議 <http://chechennews.org/clc/>

〒146-0082 東京都大田区池上 6-30-17 大富方 03-3755-7096（TEL & FAX）  
郵便振替口座番号：00180-6-261048 口座名称：チェチェン連絡会議

Email: [clc@chechennews.org](mailto:clc@chechennews.org)（団体と行事などの問い合わせ）

[chechen\\_network@hotmail.co.jp](mailto:chechen_network@hotmail.co.jp)（ボランティア参加の問い合わせ）